



2018. 12. 7

国際協力銀行と「クレジットライン設定のための一般協定」を締結

静岡銀行（頭取 柴田久）では、本日、株式会社国際協力銀行（総裁 前田匡史）と、中堅・中小企業の海外事業展開支援および日本企業の海外企業の買収（M&A）支援を目的とした「クレジットライン設定のための一般協定」を締結しましたので、その概要をご案内します。

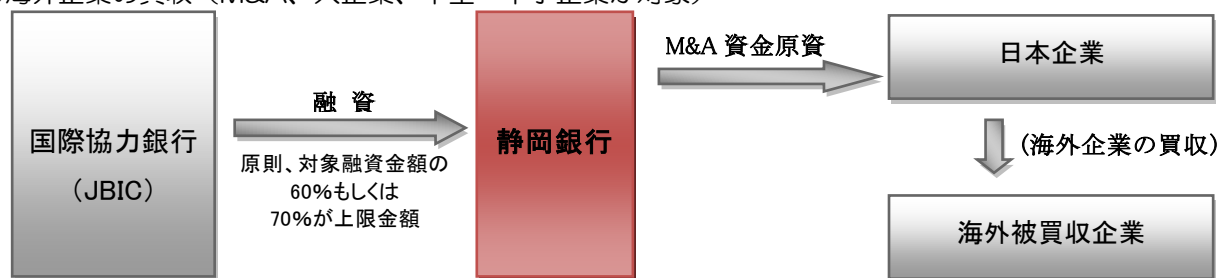
1. 締結日 12月7日（金）

2. 締結の背景、目的

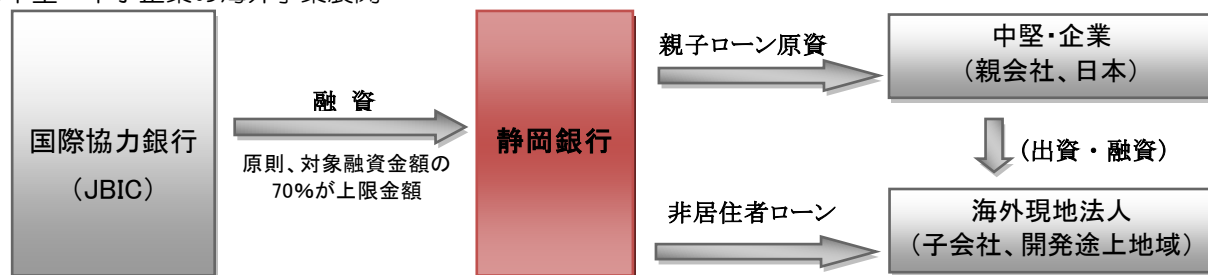
- 現在、経済のグローバル化が進展するなか、中堅・中小企業を含む多くの日本企業が、アジア地域をはじめとした新興国を中心に拡大する海外需要の取り込みを図るため、海外での直接投資や買収（M&A）を進めており、あわせて外貨資金の調達ニーズも高まっています。
- 本契約は、開発途上地域で事業展開する中堅・中小企業のお客さまや、先進国を含む海外企業の買収（M&A）を検討されているお客さま向けに、必要資金を対象とした融資枠を静岡銀行に設定し、静岡銀行のお客さまに対して米ドル建ての中長期資金を設定するものです。
- これにより、お客さまの外貨資金調達ニーズに迅速に対応するとともに、海外での事業展開を積極的に支援します。

【スキーム図】

①海外企業の買収（M&A、大企業、中堅・中小企業が対象）



②中堅・中小企業の海外事業展開



※融資先は、親会社および海外現地子会社向けとも可能